

多言語多文化研究に向けた複合型派遣プログラム  
派遣先機関等利用マニュアル

2010年10月05日

派遣者氏名（専門分野）	田 由甲 （ 文化形態論 東洋史学 ）
-------------	---------------------

派遣期間	2010年09月13日 ～ 2010年10月01日
------	---------------------------

派遣研究機関

国	都市	訪問機関
中国	福建省福州市	福建省図書館

利用マニュアル（利用申請に必要な書類、手続き、リサーチ方法等を記入）

- 基本情報：  
住所：福建省福州市湖東路 227 号  
電話：0591-87508545  
FAX：0591-87551204  
HP：http://www.fjlib.net
- 開館時間：  
（夏）8:00-11:45、14:30-17:00  
（冬）8:00-11:45、14:00-16:30  
木曜日の午後は、全館の休館日。  
また、「中文古籍及地方文献閲覧室」（3F）は土日も休館となっている。
- 閲覧に必要な書類：  
身分を証明できるものであれば、何でもいい。例えば、旅券・銀行カード・身分証明書など。
- リサーチ方法：  
すべてネットで検索可能。
- コピー・撮影など：  
派遣者が利用した「中文古籍及地方文献閲覧室」の場合、古いものは、すべてコピー禁止。撮影の許可と単価は、その閲覧室の主任が決断。もちろん、貸し出しも禁止。
- 派遣者の体験談：  
派遣者は、中国福建省福州市の福建省図書館にて、20 世紀初期で出版された二点貴重書籍\*を閲覧した。この二点の本は、館内でしか閲覧できないため、以下では、貴重書籍の館内での閲覧方法を紹介する。\*民国・施景琛『對於六境廟參保管委員會之希望』、野上英一『福州考』  
まず、福建省図書館の OPAC\*\*を開き、探したい本の情報を入力し、請求記号と配架場所を確認する。なお、検索はログインなしでできる。派遣者の場合、二冊の本はともに三階の「中文古籍及地方文献閲覧室」（以下、閲覧室と略す）に配架されていることが確認。  
次に、閲覧室に入る。貴重書籍は、職員しか入室できない書庫に所蔵されているため、カウ

ターの職員に依頼することが必要である。手続きとして、申請表（書名・請求記号を記入する小さい紙）と身分証明書（学生証・パスポートなど）を係員に渡す。なお、「閲覧証」を作成する必要はない。そして、10分程度待てば、依頼した本が入手できる。

また、閲覧中、メモは自由に取れるが、書籍に対する撮影は要許可。派遣者は、撮影を希望した。そのため、まず「撮影申請表」に関連情報を記入し、自ら隣の「主任室」に向かい、主任に撮影希望書の撮影許可についてを伺う。主任は、許可を与えた後に、1シャッターの値段を決める（自分なりの基準に基づく。派遣者の場合、1シャッター=1人民元=7円）。そして、「撮影申請表」の上にサインして、単価を書く。

続いて、閲覧室で撮影を行う。なお、専門の撮影台は備え付けられていない。撮影が終わった後に、係員は撮影枚数をデジカメから確認する。さらに、主任が決めた単価に基づき、撮影費を計上する。最後に、閲覧室のカウンターで直接に現金で支払う。

注意を要するのが、解放前（1949年以前）の殆どの本は、コピー禁止と定められ、撮影のみが許可される。また、主任が撮影を不許可する可能性も存在する。また、午後一時四十五分から二時半は、長い昼休みの時間であるため、閲覧はできない。そして、最も重要なことは、中国語でのコミュニケーション能力と考えられる。福建省図書館で撮影許可を取得する際には、すべて中国語で行われているため、基本的な語学能力が求められる。

\*\*<http://218.66.36.42:85/opac/websearch/bookSearch?cmdACT=simpleSearch&columnID=1&xsl=simpleSearch.xsl>



福建省図書館